

選手注意事項

1 開始式について

- (1) 開始式は第1日目の9月22日（金）午前9時20分より行う。
- (2) 前年度優勝校は、それぞれ杯を持参し参加すること。
- (3) 雨天の場合は屋内で行う。

2 競技について

- (1) 本競技会は、2023年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 招集場所は第2ゲートに設ける。招集完了時刻の5分前に係員により点呼があるので、競技者本人がナンバーカードの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。

招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前とし、組数により時差を設ける。跳躍競技は走高跳、三段跳、女子走幅跳が40分前、男子走幅跳が50分前、棒高跳は2時間前とする。投てき競技は男子砲丸投、男子円盤投、やり投のみ40分前とし、その他は30分前とする。

混成競技は3日間とも第1種目は招集場所で招集を行う。2種目からは混成競技者控所（男子：トレーニング室、女子：会議室②-A）で、トラック競技は競技開始の20分前、フィールド競技は30分前をめぐりに点呼を行う。

- (3) 競技に出場しない選手・チームはプログラムにつけられている「欠場届」を招集所に提出すること。
- (4) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (5) アスリートビブスはそのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。トラック競技に出場する選手は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。ただし、男子混成1500m、女子混成800m、男子5000m、男子3000mSC、女子3000m、男女5000mWは主催者が準備した別ビブスをつけること。その際、正規ビブスを持参すること。
- (6) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (7) シューズの靴底（ソール）の厚さについて（WA規則第143条TR5に準ずる）
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m未満の種目（4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
 - c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳び25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソールの厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。

※日本陸連競技規則に準ずる。

- (8) リレー競技に出場する学校は、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、各組の招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。4×400mR 予選は、招集完了1時間前までに本部に提出すること。ユニフォームに関しては、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
- (9) 跳躍競技のバーの上げ方については下記の通りとする。（ただし、状況により変更することがある）

1位及び北信越新人大会出場の決定戦は、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって行う。

走高跳	男子	1m55 1m75 練習	1m60 1m65 1m70 1m73 1m76 以後3cm刻み
	女子	1m25 1m40 練習	1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 1m51 以後3cm刻み
棒高跳	男子	2m90 3m60 4m00 練習	3m00 3m10 3m20 3m30 3m40 以後10cm刻み
	女子	1m60 2m10 2m70 練習	1m70 1m90 2m00 2m10 2m20 以後10cm刻み

※棒高跳の練習はゴムバーを使用

※男子棒高跳の練習は9月23日女子棒高跳終了後～16:00の間、メイン競技場で行うことができる

(10) 計測ラインは次のように予定する。(ただし、状況により変更することがある)

男子	砲丸投	8 m 0 0	円盤投	2 0 m 0 0	ハンマー	なし	やり投	3 0 m 0 0
	走幅跳	5 m 5 0	三段跳	1 1 m 0 0				
女子	砲丸投	なし	円盤投	なし	ハンマー	なし	やり投	なし
	走幅跳	4 m 3 0	三段跳	9 m 0 0				

※三段跳の踏切板は、砂場まで男子11m、女子9mとする

- (11) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (12) 競技用具については棒高跳用ポールを除き、競技場備付のものを使用する。
- (13) 助力について・・・競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、競技者が視聴可能なコーチングエリアのみとする。ただし、競技者が機器の操作をすること、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱すること、助言者からの文章による連絡は認められない。また、ビデオ・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技区域内で所持または使用することはできない。
- (14) 混成競技者控室は、本競技場地下1階トレーニング室(男子)、会議室②-A(女子)に設ける。

3 表彰について

- (1) 種目別表彰はその都度行う。男女総合、トラック・フィールド競技の部は男女各3位まで表彰する。
- (2) 8位までの入賞者は、当該競技終了後直ちに表彰者控え席に集合すること。(控え席は正面エントランスロビー出入口とする)

4 その他

- (1) 競技場の開場時間は7:30とする。
- (2) 学校受付は陸上競技場コンコース入口にて行う。
- (3) 第28回北信越高等学校新人陸上競技大会の出場資格を得た者(各種目8位までの入賞者のうち上位4名。ただし、辞退者が出た場合は繰り上げる)は、表彰終了後、係の先生の指示の下、個票の確認を行うこと。
- (4) 大会中のけがは医務室にて応急処置のみ行うが、その後については各自で対処すること。
- (5) 各校補助員は、9月22日(金)～9月24日(日)の8時30分に集合場所(会議室5A)に集まり、補助員係主任の指示を受けること。
- (6) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。
- (7) 写真・ビデオ・携帯電話などの撮影については、撮影禁止エリアでの撮影を禁ずる。また、競技に支障の出るような撮影は控える。(競技開始時にシャッター音の出る機材での撮影など。)盗撮と疑われる撮影者には、競技役員が声をかけることがある。
- (8) 競技に支障のあるような応援はしないこと。競技試技中の集団応援はサイド、バックスタンドの2階席スタンドで行うこと。フィールド競技(混成競技も含む)のトップ8以前については競技進行上、手拍子応援を求めない。